

軽井沢便り (2012年8月)

はじめに

軽井沢は、東京に比べると-10℃程低く、自宅では掛け布団をはがしクーラーで下着なしのポロシャツですが、こちらは布団を覆いクーラーも扇風機も無く下着の上にポロシャツです。

4、5月は、庭に新しい珍種高山植物の植え込みや宿根草約400種の3分の1を珍しい花と入れ替えなどで、庭づくりの明け暮れでした。

やっと、ここにきて来客の対応が出来るようになり、連日自称「ミニ植物園」がにぎわっています。

軽井沢は、湿度が高く苔の庭が大半です。我が庭のような樹木の中に花が咲いている庭は殆どありません。

庭づくりのコンセプトは、何処の部屋からも木と花が観え、林の中を散策していると名前が分からない可愛い花に出会うように設けています。高価で珍しい花は、他の花や雑草に押され中々増えませんが、関心度の薄い花は成長が早く、間引いて花の愛好家や造園業者に差し上げています。

見どころの山野草

山野草のゾーンでは、フシクロセンノウ、ソバナ、黄花九輪草が咲いています。これから、秋に向かって6、7種類のリンドウや根が毒薬のトリカブトが沢山咲きます。ギボシも満開です。

ギボシは、30種類程育てていますから、後日同花について報告します。



フシクロセンノウ



ソバナ



黄花九輪草

美智子妃殿下のお好きなユウスゲが、可憐な花を咲かせています。ユウスゲは、夕方に咲き1日花です。同花は15株程ありますが、今春2株を残して全て植え替えました。この残した2株だけに花を咲かせ、植え替えたユウスゲは花が咲きませんでした。ユウスゲを咲かせるには、放置し自然体の育て方が必要のようです。

軽井沢は、涼しく高山植物や山野草を育てるのに条件が整っているように思われていますが、湿度が高いため、ガレキで水分を必要としないコマグサ、シャジンなどには不向きです。ですから、ハナミズキ、椿、アジサイなどは育ちません。湿度を好むユウスゲ、レンゲショウマ、アナベル、ニッコウキスゲなどは適しています。



ユウスゲ



レンゲショウマ



アナベル

珍しい宿根草は、炎のような激しさのリグラリア ブリット マリークロフォード、ポーランド産の上品なキクニガナ、ドイツから種を取り寄せたトロリウスなどは軽井沢の土地と気候に合っているようです。この他に、デルヒュニウム、綺麗な名称不明の宿根草を種から増やしています。



リグラリア ブリット マリークロフォード



キクニガナ(ポーランド産)



名称不明



トロリウス(ドイツ産)



1/2 デルヒュニウム



名称不明

美味しい実

ブルーベリーは、木が古い程実が大きく甘いと言われています。我が家のブルーベリーは、樹齢 60 年程の 6 本株立で根本が直径約 15 cm の大木です。毎朝、お茶碗に 2 杯採れ、八ヶ岳高原ヨーグルトに入れて頂いています。鮮度の高い有名な長野県下の T スーパー(年商 1000 億円)の経営者が来られ、このブルーベリーを口にされ、甘味と大きな実に絶句されていました。ヒヨ鳥やすずめ蜂が食べに来るので、防鳥ネットを覆っています。

散歩道に、バライチゴが色付いており、家内と 20 分程でザルに 2 杯採りました。熱湯に掛け、種を裏越して除去し、砂糖とレモンで煮詰めてジャムにします。



甘いブルーベリー



ブルーベリーの大木



バライチゴ

猪の防護柵

帰宅している間に、高価で極めて入手が困難なアツモリソウ×2 株を猪に掘られ枯らしました。掘り起こされたのは、この他に中国産の白花アツモリソウ×3 株です。これらのアツモリソウは、土配合に特殊土を使用しているため、この配合土の匂いが猪の鼻を引きつけたのでしょう。

直ぐ近くに珍しい神領ユリ、ササユリ、ヒメサユリ、クロユリ、タカサゴユリ、ヤマユリなどを育てており、食べ物が少なくなった冬に間違いなく食べられるので、今回猪の防護柵を設けました。

防護柵に関しては、ゴルフ場やたんぼに鉄線を張り巡らせ高い電流を流す仕様を考えていたのですが、南ヶ丘のステータスとして芳しくないと言われ造園業者に猛反対され、金網を張ろうと考えていたのですが、庭の景観を維持するために緑色の布のネットを張りました。これだと、景観も損ねず高電流による危険性も無く、猪が地面を掘って入って来なければと願っています。

再度、珍種のアツモリソウや珍しい糸葉ユリ、松葉ユリを外国から取り寄せ、育てたいと考えています。

昆虫

昨秋、庭の肥料にバークを取り寄せたところ、カブトムシの幼虫を 30 匹程見つけました。

また、今年は鈴虫が約 150 匹程誕生したので、カブトムシを成虫に育て、カブトムシと鈴虫の虫好きな孫や近所の子供達にプレゼントしました。鈴虫は数が多かったため、引き取り先が無いと心配していたのですが、想像を大きく狂わせ、虫籠×10 個の購入と自宅にあった虫籠では足らなくなり、ペット店に鈴虫を買い求めたところ、即完売で大変な人気でした。子供が、生物を育てる優しい心の持主になればと・・・子供達の生物を育てる手伝いを心掛けています。

鈴虫は、お盆の頃から鳴き始めています。東京での鳴き声は、涼しさを呼び寄せてくれていました。

自宅と軽井沢の庭にも、各々 15 匹程放しましたから、そろそろ庭からも鈴虫の鳴き声が聞こえるでしょう。今も涼しげな鈴虫の鳴き声が聞こえています。



猪の防護柵



鈴虫

PS1: こちらは、朝夕涼しくなりました。もみじの頂上が紅付き赤トンボが飛んでいます。秋の気配です。

PS2: 相変わらず、雑草引きは業者を入れず、軽井沢へ来る度に延 4~5 日掛けています。毎回自力で草引きをしているのは、雑草の出を減少させることと、業者に草と間違えて宿根草を引き抜かれたり、自ら雑草の成長を観察しながら、花の育て方を研究しているからです。未だ、草引きへの強い気持ちはあります。この強い気持が、薄れないように持続させたいと願っています。

2012 年 8 月 22 日

軽井沢にて：横林寛昉